



令和3年(2021年)第32週 2021年8月9日(月)~2021年8月15日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



破傷風について

今年は熊本市内での破傷風の報告は2件となっています。主にケガをした際に感染してしまう破傷風に気をつけましょう。

破傷風とは

破傷風は、破傷風菌により引き起こされ、かかった場合に亡くなる割合が高い感染症です。破傷風菌は土の中などに存在し、主に傷口から体内に入り、増えた菌が作る毒素によって筋肉のけいれんやこわばりなどを引き起こします。口が開きにくい、顎が疲れるといった症状に始まり、歩行や排尿・排便の障害などを経て、最後には全身の筋肉が固くなって体を弓のように反り返らせたり、息ができなくなったりし、亡くなることもあります。

ケガをしたら...

破傷風は深い傷だけでなく、庭いじりなどでできる小さな傷でも感染することがあるので気をつけましょう。

- ・ケガをして、土などで汚染された場合には、速やかに傷口を洗浄しましょう。
- ・ケガをして3週間くらいの中に破傷風様の症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。



「破傷風とは」
国立感染症研究所
ホームページ



古くぎを踏んでしまったら

破傷風は、ワクチンによる予防効果が大きい感染症です

破傷風は誰でもかかる可能性があり、ワクチンを接種して予防することが特に重要です。ワクチン定期接種を確実に受け、定期接種が未接種あるいは接種歴が不明の場合は、積極的に、破傷風のワクチン接種を検討しましょう。自分自身や家族が、いつ何回破傷風のワクチン接種を受けたのか、記録しておくことも大切です。

また、一度かかっても破傷風の免疫はつかないので、治った後にワクチンを接種しましょう。ワクチンの効果は次第に薄れていくので、ケガをしやすい職業や海外渡航の際には追加のワクチン接種を検討しましょう。

標準的なワクチン接種スケジュール

1期: 初回接種については生後3ヵ月~12ヵ月の期間に20~56日までの間隔をおいて3回、追加接種については 3回目の接種を行ってから6ヵ月以上の間隔(標準的には12ヵ月~18ヵ月の間隔)をおいて1回の接種を行います。

2期: 11~12歳の期間に1回の接種を行います。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

期 間		2021年 31週		2021年 32週	
		8/2~8/8		8/9~8/15(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	4	0.25	2	0.13
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	7	0.44	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	3	0.19	1	0.06
感染性胃腸炎	➡	23	1.44	15	0.94
水痘(みずぼうそう)	➡	3	0.19	2	0.13
手足口病	警報レベル!! ➡	79	4.94	75	4.69
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	➡	7	0.44	4	0.25
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	2	0.13
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	4	0.80	3	0.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00